

さいます。そうして子供が無心に之を玩んで居る間には、之と親み愛する情も養はれ、其理科的性質、作用も觀察され、發見され、研究され、之を様々に用ふる事に由て工夫想像の力も練られ感官も習練されます。葉一枚を手にしても大人は之に由て子供に、色、形、作用などを語る事ができるごとく、子供の時代の理科的知識位は其常に玩んで居る自然物に由て随分導きつゝ語る事ができると考へます。自然物に由て子供の好奇心求知心を利用して物事を研究するといふ心の萌芽を培養して行くといふ事に大切な事でございます。自然物を玩ぶといふ事は此通り有益な且つ必要な事でございますから「マタ衣服ヤ手ニ土ヲツケテ」とか「コンナ枯葉ヲ澤山持ツテ來テウルサイ」とか、一口にけなす大人がもしありましたならば、

それは實に誤つて居ると思ひます。子供が自然物を玩ぶ之に由て遊ぶといふ中には、様々の尊い良意味が含まれて居るのでございますから、大人は其つもりで子供に同情してやつて適當な注意を拂ひ指導を與へましたならば、子供にとりて幸福な事でございます。

乳母を撰ぶ法

久永童山

本編は、親友故山本與一郎氏が編著せられた「家庭衛生論」中の一編である、我のみ讀みて、獨り泣くに忍び難いから、之を公にして、「婦人ど子供」の愛讀諸賢に示さう。

乳母を撰び方は、随分やかましさものなるが、規則通り一點の缺け目も無き乳母は、中々得難き

ものにて、強いて之を求めんとすれば、或は小兒を餓えしむるに至らん。

爰には、云ふべくして、行ふべからざる事を省き、手が從來實地に執り來りし方法を述べし、

(一)乳母は年齢二十歳以上、三十歳以下なるべし而して乳母の年齢は、小兒を産し實母と、ほぼ同じからざるべからず、何となれば、年齢異なれば、從つて其乳汁の中にある、營養分異なりて、

乳母の乳汁は、小兒に適せざるを以てなり。

(二)乳母は又實母と同年同月に小兒を産みしものに限るなり、乳汁は、小兒生れて後、成長の度に隨つて、其濃さ薄さ、及滋養分に差異を生ずるものなればなり、たとへば、乳母は一月に子を産み、

實母は三月に子を産みしものとせば、乳母の乳汁と、この乳子を飲ますべき子とが、二ヶ月互ひ違

ふゆえに、子兒の身體に故障を生ずるに至るなり。左に掲ぐる表は、産後日數を経るに隨つて、乳汁に差異を生ずる割合を示すものなり。

	分	日	後	同上	同上
	四	九	日	九	十二
	日	日	目	日	日
水	八七九	八八五	八八五	八八二	九〇五、八一
固形分	一一一	一一五	一一四	一一八	九四一九
乾酪質及蛋白質	三五	三三	三六	九一	二九、一一
牛酪	四三	九七	三五	三三	三三、四五
乳糖	四一	一八	四二	九八	三一、五四
無機鹽	二、〇九		一、六九		一、九四

(三)乳母はよく發育し、緊實にして、彈力強く、適宜に乳汁を含み、乳頭は突き出で、凹まず、硬結なく、外傷或は腫物なきを要す。

(四)乳母は、遺傳病あるものは悪し、たとへば乳母に肺病、梅毒、貧血、萎黃病等あれば、其の乳

を飲む子にも此等の病を遺して、大なる害あるべし。(以下次號)

人の婚姻をいはひまゐらせて

風静かなる

あゝこの日から

嬉しきまとの

また今日の日の

生日足日の

抑も始めにて

鴛鴦のつばさの

羽をかざねつゝ

池のみぎはに

その影うつす

松のみどりの

色香や深く

家にはにはへる

花咲きみたし

國には美しき

實をなし結び

田鶴のことぶき

龜のよはひの

長く久しく

尙は幾ひさに

二つのむくろ

ひとつのまこと

限りもわらせず

いや榮えなむ

(をばり)